

田端中だより

令和4年6月1日 北区立田端中学校

校長 浦山 裕志

<教育目標>

人権尊重の精神を培い、

国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる

<目指す生徒像>

自他を愛しむ生徒 生命を尊ぶ健やかな生徒 自ら学び、自己実現を目指す生徒

田端中学校の新たなバトンの引き継ぎへ

副校長 石 川 淳 -

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めて3年目。今年度の運動会は制限付きではありますがようやく来賓の方々や保護者の方々に観戦いただけるようになりました。生徒たちも大勢の観客がいる中での運動会は久しぶりであり、生徒たちの顔からはいつも以上に緊張とわくわくした高揚感があるように見えました。

今年度の運動会は、生徒が主体的に活動すること。そして、全校の力で3年生が主役となる機会を与えることを目標としていました。そのため、教員は言いたいことも我慢をしながら生徒たちの心や体を動かすための指導・助言を行ってきました。

生徒たちははじめ戸惑いを感じていました。 今も続くこのコロナ禍にあって今まで当たり 前のように行っていた集団での活動が失きれ、 行事の中で先輩の姿を見て学ぶことができれ、 どのように集団の中で自分を表現したらよい か分からなくなっていたからです。3年生の 特にそのことを感じていました。3年生の実 行委員が全校生徒たちの前に立ち指示を与え るときにもはじめは先生の顔色を伺う場面が 多く見られました。

しかし、誰かのためにと努力を続けてきたことで、一つ一つ自分ならばやれるのだという自信がついてきました。運動会当日、生徒

たちはその成果を表現できていたと私は感じています。来賓の方々からも「さすが中学生」と主体的に動いている生徒たちを見てそのように話していただきました。

人間は、経験のないことを行う時、とても 不安になるものです。なぜならば、何をして よいか分からないからです。だからこそ、 の場から逃げたいと思ってします。 し、いろな方たちから教わり、行きない 学ぶことによって「分からないからできない」 に気づくことができるのです。心は鍛え強くしているな経験 を積み、知識を蓄え、何事にも負けないため の自信をつけていくことです。

今年の3年生は、はじめこそ自信のない態度が見られましたが、当日本番には主役としての責務を果たし、最高学年として立派な背中を後輩たちに見せてくれました。やっと取り戻すことができたこの機会を大切にするためにも次の1,2年生には、先輩たちのバトンを引き継ぎ、乗り越えていける運動会をつくってほしいと思います。

保護者、PTA、地域の皆様、今年度の運動会が生徒たちの成長に繋げることができたのも皆様に支えていただいたからです。教職員一同、あらためて御礼申し上げます。



Challenge for the Top 仲間と共に

圖 勝 3年2組 2年1組 1年2組

クラス旗:最優秀賞 優 秀 賞

3年2組 3年1組 2年3組



新記録賞

3年女子80m走 3年女子1000m走

3年女子50mハードル

<生徒名の掲載は控えております>

1年男子100m走

令和4年度 田端中学校 学校経営計画



学校経営の基本的な考え方

生徒の自尊感情・自己肯定感を育む学校づくり

目指す学校

「教育先進都市・北区」のさらなる充実・発展を目指すために策定する、『北区教育ビジョン20 20』及び本校の教育目標を踏まえ、生徒・保護者の願いや地域の期待に応える学校を目指す。

教 育 目 標	目標	人権尊重の精神を培い、国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる	
	育てたい 生徒像	1 自他を愛しむ生徒 【徳】	
		2 生命を尊ぶ健やかな生徒 【体】	
		3 自ら学び、自己実現を目指す生徒 【知】	
目指す学校像	義務教育の大きな目的は、生徒の社会的自立にあります。そのためには、自らの生き方と人間としての在り方を学ばせ、「未来への夢や希望をもち」こころざし高く歩み続けようとする生徒」を3年間かけて育てることが重要です。生徒に分かる喜びやできる楽しさを味わわせ、自尊感情・自己肯定感を育みます。		
	1 生徒が生き	生きと学習し、誇りをもてる学校	
	2 教職員が組	l織として協働し、働きがいを感じられる学校	
	3 保護者、地	はの方に子供の成長が見え、親しみをもたれる学校	
教目師指像す	1 教職への使	命感をもち、熱意と行動力で生徒と向き合う教師	
	2 生涯を通じ	て学び続け、専門性を高める教師	
	3 教育公務員	ぬとしての職責を自覚し、組織的に協働する教師	

2 中期的目標と方策

学校は組織体としての活動により成果を上げる側面と、教職員一人一人の人格により指導する側面 がある。それぞれの良さを生かしながら、現在の学校教育をとりまく状況や、田端中学校の統合の理 念に立脚した保護者・地域及び卒業生の寄せる思いも理解して、信頼される学校づくりを推進する。 学習指導要領が示す資質・能力を生徒に身に付けさせることを中期目標とする。

中期目標	1	生きて働く「知識・技能」の習得
	2	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
	3	学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
方策	徳	○人権教育の推進○「特別の教科 道徳」の授業の充実○学級活動、学校行事、生徒会活動、部活動を通じた規範意識と集団帰属意識の向上○家庭、地域、関係諸機関との連携
	体	○体育健康教育の充実○テーマ性ある食育の推進○安全教育・防災教育の推進
	知	○基礎・基本を重視した分かる喜び、できる楽しさを味わわせる授業の実施 ○主体的・対話的で深い学びの実現 ○タブレット端末を活用した授業の創意工夫 ○家庭学習の充実

3 今年度の取り組み目標と方策

キャリア教育を軸としたカリキュラム・マネジメントの定着 学力向上に資するタブレット端末の活用 生徒の主体性を伸長する特別活動の推進

・学年経営方針をお知らせしますー

学校経営計画に基づき、学年主任が学年経営方針を作成しました。各学年がどのような方向性をもって生徒を育て ようとしているのかをお読みください。学力向上と健全育成のために、学校と家庭の連携は欠かせません。学校経営・ 学年経営へのご理解とご協力をお願いいたします。

第1学年

- (1) 中学生として自覚ある行動をとれるように意識しよう。 (2) 様々な活動を通して、自主的な行動がとれるようにしよう。 (3) 行事などを通して、集団としての行動力を高めていこう。

- 2 学年経営の基本方針
 (1) 基礎学力の向上ができるよう家庭学習を大切にしよう。
 (2) 行事に積極的に参加し、自主的な行動ができるようになろう。
 (3) 基本的生活習慣を身につけるとともに集団としての行動がとれるようにしよう。
 (4) 自己理解の機会を持ち、自己実現への意欲を持とう。

指導の重点 【学習・進路指導】〇授業規律を確立し、落ち着いた学習活動の展開・提出物の徹底を目指す。〇カテガクノートを活 用して家庭学習の時間を確保させ、自主的な学習活動を促す。〇定期考査の対策を計画的に行わせることで、学習 活動の充実化を図る

「生活指導】〇学校、学年行事に積極的に取り組まることで自主性を高めさせる。〇リーダー、フォロワーの育成を意識させ集団的な行動力を高める。〇基本的生活習慣(服装・言葉遣い・挨拶)を徹底することで規範意識を高める。〇学校を公の場と認識させ、TPOにあった立ち居振る舞いができるようにさせる。〇周囲に対して気遣いを -の育成を意

するという事について折りに触れ話しをしていく。 【進路指導】〇自分自身の考えや行動について考える時間を確保することで、自身の長所や短所を把握させることでE 一つ、これではある。〇田端中ハローワークを利用して「職業観」を意識させ、自己実現のための第一歩とする。

家庭・地域との連携

(1) 保護者との連携を密にし、学校・保護者と一体となって生徒の成長を見守る。
(2) 教育相談、保護者会などを通して担任だけでなく、学年・学校全体で生徒の指導にあたる。
(3) きたコンを利用することで学校からの情報を発信していく。

第2学年

(1) 他の人のいたみを考えられるようにしよう。

(2) 規則正しい生活を心がけよう。

(3) 自分の目標をもち、その実現のために努力しよう。

学年経営方針

(1) 思いがのの心・集団生活の意義を考えて、集団としての成長を学級活動や行事などを通して学んでいく。 (2) 規則正しい生活・成長期に規則正しい生活を送ることは大切なことである。ルールを遵守し、起床時間・就寝時間・食事などを意識して生活させるようにする。 (3) 学力の向上・教科担任との連携を図るとともに、家庭学習ノートをもとに家庭学習を促していく。

指導の重点 学習指導】○家庭学習を充実させるため、家庭学習ノートを活用する。○職業講話を行い、自らの目標とする大人像 ・ を明確にイメージさせる。

【道徳指導】〇道徳の教科書を活用し、計画的に取り組むとともに、国際理解の観点などから今日的課題をとりあげる

【特別活動】〇行事、学校生活での班単位の活動を基に、集団生活の向上に向け、お互いに協力することを身に付けさ せる。

「総合的な学習の時間】○田端中ハローワーク及び職業体験学習を根幹とし、自分自身の進路について考え、発表などの能力を向上させる取り組みを行う。 「その他】○田端中ハローワークでは、異学年集団の中で地域の人に学ぶ姿勢をもたせ、社会に貢献する心をはぐくむ。○合唱コンクールや運動会、学習展示会等の取り組みにより、生徒の多様な個性を引き出し、自尊感情を高めるとともに、他を思いやる心を育てる。

家庭・地域との連携 (1)学級懇談会において、中学生として必要な内容を取り上げ保護者との理解を深める。 (2)学校における様子がわかるように情報を発信し、子供を核として学年、学校、地域の連携を深めていく。

第3学年

(1) お豆いに尊重しあい、協力できるようにしよう。 (2) 正しい判断力を身につけ、自主的に行動できるようにしよう。 (3) 希望の進路実現に向け、ねばり強くやり抜く人になろう。

- 学年経営方針
 (1) 学校生活全般を通して、「中学生らしい」服装、言葉遣い、生活態度及び学習態度を考え、理解させ、生徒の自立 を促す。 (2)他人を思いやり、集団の団結力を高め、目標に向かって粘め (3)正しい判断力を身につけ、自主的に行動できるようにする。
- 目標に向かって粘り強く最後まで努力できるようにする。

指導の重点

【学習指導】〇定期テストなどへの取り組みを充実させるため学習計画表、〇振り返りをするために個票を活用する。 〇個々の実力を伸ばしていくよう家庭学習ノートを活用する。 【生活指導】〇学年全体で情報を共有するとともに、何事にも学年全体で対処するようにする。〇朝読書で一日のスタートを落ち着いたものにする。学年集会、班長会、学級会を活用する。 【進路指導】〇進路説明会、高校長の話を聞く会などを通じて情報収集をし、自己の進路を考え、自分に合った進路選集ができる。

択ができるようにする。 【その他】〇運動会、合唱コン の他】〇運動会、合唱コンクール等の取り組みにより、生徒の多様な個性を引き出し、自尊感情を高めるとともに、他を思いやる心を行る。・行事、学校生活での班単位の活動を基に、集団生活の向上に向け、自ら考え、協力 する姿勢を身に付けさせる。

4 家庭・地域との連携 (1)教育相談等において、必要な内容を取り上げ、保護者との理解を深める。 (2)学生懇談会では学校における様子がわかるように情報を発信し、子供を核として学年、学校、地域の連携を深め

	6 月				
1	水				
2	木				
3	金	教育実習終			
4	土				
5		修学旅行[3年:奈良・京都方面]			
6	円	都学力向上を図るための調査[2年]			
7	火	•			
8	水	振替休日[3年]			
9	木				
10	金	進路説明会			
11	土	土曜授業			
12					
13	月	朝礼 安全指導 水泳指導事前健診			
14	火				
15	水	田端中いじめ防止の日			
16	木	中間考查1週間前			
17	金				
18	土				
19					
20	月	生徒会朝礼 水泳指導始			
21	火	都学力向上を図るための調査[1年] 避難訓練			
22	水	中間考査			
23	木	中間考査			
24	金				
25	土				
26					
27	月	熱中症予防集会			
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

※新型コロナウイルスの感染状況により変更になることがあります。 ※最新の情報は学年だより等をご確認ください。

5.13 離任式がありました







1を語ってくださいました。 んして離任式を行いました。 本校での思い出と在校に田端中学校を離れ、新しい所属に移った三人の先

Teacher's Eye

6/5(日)~7(火)修学旅行[3年]

3年生は6月5日より7日まで、京都・奈良に修学旅行に行って参ります。

現在、修学旅行実行委員を中心に準備や話し合いを進めています。京都・奈良の文化遺産の見学と学習をしますが、主に班での行動が中心になります。

初めて体験することがたくさんあると思います。各自が責任をもって、班員同士の協力の下に楽しく、実り多い修学旅行にしてほしいと思っています。

(第3学年主任)

6/22(水)23(木)中間考査

令和4年度の最初の定期考査が6月22日 より始まります。考査範囲も事前に配布され ています。

いつも言われることなのですが、計画的に 学習を進めていくことが肝心なことです。 どんなことでも成功に向けては、粘り強く、計画的に取り組んでいく姿勢が大切です。 準備も含め学年初めの考査に全力で取り組みましょう。

また、答案が返却された後の見直しにこ そ、その後の成長の鍵があります。何が理解 できていなかったのかをしっかりとつかむこ とも大切にしてほしいと思います。

(国語科)

祝 女子バレーボール部

北区中学校夏季大会

第3位

第4プロック大会出場決定

祝卓球部

北区中学校夏季大会

男子団体 第3位 女子団体 第3位

女子シングルス第2位

都大会シングルス出場決定

<生徒名の掲載は控えております>